



日本共産党文京区議会議員
まんだち幹夫 通信
 2010年3月5日号 No.136

'みなさんをいつもまんやかに、

区議団控室：5803-1317（直通）
 萬立幹夫事務所：文京区小石川2-23-7
 ・fax 3868-8355

メール：mandachi@jcp-bunkyojugidan.gr.jp

《このニュースは区議団ホームページ <http://www.jcp-bunkyojugidan.gr.jp/>でもご覧いただけます》



品目別リサイクル率 -
 新聞：85.4% スチール缶：84.9%
 白色トレイ：15.7%
 生ごみ：0.8% 容器プラ：0%

区議会「清掃・リサイクル調査特別委員会」の議論から
生ごみやプラスチック容器類の資源化は、ごみ減量にも環境保全にも、かかせない課題

ごみの資源化、リサイクル……私たちの住むこの地球のことを考えるとき、一人ひとりの努力とともに、行政の主導的役割が問われてきます。

23日の「清掃・リサイクル特別委員会」は、午前中に研修会（専門家からリサイクルの歴史、東京都の施策の変化、現状と課題）を行い、午後は、来年度中に策定する一般廃棄物処理計画の審議でした。この審議中の計画は、この先10年間で「家庭ごみ」を23%削減、リサイクル率をあと10%増やす。「事業系ごみ」も18%削減、リサイクル率はあと6%増やすというもの。ぜひ実現したいものです。

そのためには、とくにリサイクルを増

区民に対する説明責任が問われています

今回は「採択」と言うのかと思ったら…後退しました。

26日の区議会厚生委員会での請願審議でのことです。「後期高齢者医療制度を早急に廃止するよう国に要請してください」の要請項目に当然、日本共産党は賛成「採択」。ところが国政でも与党の民主クラブは、「民主党の立場は廃止だが、平成25年には新制度をつくるというから、今回の請願は「不採択」でした。なんともよく理由がわかりません。前回の委員会での同じ請願には「保留」していました。

「すみやかに廃止、しないから、保険料はまた値上げ、滞納者には保険証取り上げ?...困ります。



やすための手立てとして、瓶、缶や古紙などのリサイクルを徹底しつつも、現在リサイクル率0%の品目へのアプローチがなければ、かかげた目標が達成できなくなりそうです。生ごみは、家庭ごみの排出量の約25%と割合はひじょうに大きく、またプラスチックは6〜7%で新聞に匹敵します。生ごみの堆肥化や、せめて「プラマーク」のついた容器、袋類の選別、資源化をぜひ行うようはたらきかけましょう。現に東京都区部の半数は実施しているのだから。



まんだち日記

- 25日 議会運営委員会で、議員報酬の見直し、費用弁償の廃止の議員提案条例案の審議のため、委員会室の「説明席」に。短時間でしたが初めての経験でした。議案は、反対多数で成立しませんでした。
- 27日 小竹ひろ子前都議らと地域訪問しました。土曜の町は静かです。ある折本所で、「金曜日の夜に仕事が入って月曜日の朝までに仕上げてくれと言われた。平日は暇なのに。」と嘆いていました。夜は党支部の会議
- 1日 委員会準備開催されている文教委員会をときどき傍聴。中学校の入学希望状況の途中経過が報告されていますが、年々「区立中学校はなれ」が加速しているような感じでした。